

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター新津担当圏域レベル 担当圏域レベル）開催報告書	
1 開催日時	令和 6 年 6 月 24 日 （ 月 ） 9 時 30 分 ～ 11 時 00 分
2 開催場所	可美協働センター ホール
3 参加者	32名 委員 8 名（新津地区 4 名、可美地区 4 名）、関係機関 19 名、事務局 5 名
4 協議の内容	1.開会 2.会長・副会長の選出 3.会長挨拶 4.委員紹介 5.協議紹介 ① これまでの振り返り CSWより、令和5年度の可新生活支援体制づくり協議体について報告した。 ② 【情報提供】 ■マックスバリュート浜松新橋店より、ネットスーパー・電話スーパーの概要について紹介 ・発注時間について ・子育てママ(6歳以下)、シニア支援(65歳以上)キャンペーン →1年間配送料が無料になる。 - 店舗登録OK、年齢確認できるもの必要 ・配達できる枠があれば、再配達可能 ■委員質問 ① 値段設定について:ネットスーパーはリアル価格、TELはタイムラグが発生する。 ② ちらし周知方法:ポスティング ③ 電話スーパーを始めた経緯:高齢者の中には、ネット注文だけでは対応できない方がいるため。 ■【意見交換】各地区における今後の取組について 地区ごとに分かれ、グループで意見交換した。 【可美】 R6:「カフェ実施活動に取り組む」 ・場所候補:ふれあい交流センター可美→災害時にも良い市民サービスセンター ・サロンカフェの周知方法→敬老会 9 月に周知するのはどうか。

- ・人と交流することで情報が行き届く
→特に単身世帯は交流することが少なくなる。
- ・外出の機会、出かけるきっかけになる。
- ・サロン、カフェが生活習慣に
- ・女性が多い、男性参加者を増やすためには？
- ・高塚の移動販売車、少しずつ人が戻ってきた。→もっと情報提供をしたい。

【新津】「買い物支援」

- ・買い物支援は、実際にメニューを見ながら頼むことが出来るので移動スーパーやネット販売とはまた違った買い物資源になる。

色々な買い物資源が出てきたので一度整理をし、まとめたものを再度地域に利用出来る買い物資源として情報提供が出来るのではないか。

6 次回の協議内容について

日時: 令和6年9月 25 日 9時 30 分から11時 00 分まで

場所: 新津協働センター ホール

7 連絡事項

生活支援体制づくり協議体委員報酬の支払いについて

8 閉会

可新生活体制づくり協議体 副会長

5 今後の見通し・ 必要な対応

今年度は以下について協議していくことになった。

「可美地区」

・具体的にカフェ等の居場所をふれあい交流可美を活用して行っていくことが出来るのか検討。

- ・カフェ等の居場所の周知方法

「新津地区」

- ・様々な買い物資源が出てきたので一度整理をする。
- ・再度地域に利用出来る買い物資源として情報提供をする。